

剣道 教士 7 段 居合道 範士 8 段

光武館館長

片岡 美光 さん

(下吾川)



片岡美光さんは、光武館館長として、自宅の隣にある道場で子どもたちとともに剣道を学び、また、80歳になった現在でも、剣の道を磨くために日々鍛錬しています。

「警察官だった父の影響で、5歳から剣道の手ほどきを受けました。」

戦後の剣道禁止の時代など、剣を持てない時期がありました。昭和28年に下灘村現在の双海町下灘地区で青少年の健全育成を目的として、剣道の指導を始めました。

「当時は、地元の方といっしょに竹刀を手づくりしたり、学校の講堂

の床板を補修したりしながら剣道の指導にあたっていました。」

昭和48年に下吾川に青少年健全育成会・光武館を開設し、子どもたちとともに剣道を学んでいます。

「これまで、数え切れないくらい子どもを指導してきましたが、剣道を指導するときには、正しい心・強く元気な体・正しい礼儀作法・人に迷惑をかけない責任感・思いやりの心などを剣道を通じて指導しています。」

試合に勝つことも大切ですが、その道のりである日々この稽古でいい汗を流し、ありがたうの心で、明



寂然の氣(剣道・居合道が育てる心境)
静かで清く有無の境を離脱した美しい世界 片岡美光

日もがんばろうと肩をただいて家路につく、その少年達の姿が大好きです。」

現在、剣道教士7段、居合道範士8段を有する片岡さんは、剣道・居合道を鍛錬することによって、日々の生活の中における、人と接するときの間合いや体さばき、呼吸、判断力、心の切り替え、そして何よりも、前向きな心が養われました。

「私は80歳になりましたが、居合道の道では、94歳の現役剣士がいると聞きました。だから95歳になっても現役でいるようにと知人に言われたことがあります。そうなれるようにがんばりたい。」

「私がこのような幸せな人生を送れるのは、下灘で剣道を指導したとき、また、光武館の建設や運営を本当に親身になってお世話をしていただいた双海剣道会や光武館後援会の皆様のご協力のおかげです。」

取材中、常に穏やかな表情で自然体な片岡さんから、正しい心のあり方について、私たちも指導をしていただいたように思います。

○片岡美光さん(80歳)

- ・ 剣道教士7段
- ・ 居合道範士8段
- ・ 青少年健全育成会光武館館長
- ・ 愛媛県剣道道場連盟会長
- ・ 愛媛県剣道連盟審議員
- ・ 愛媛県剣道連盟居合道部会長